



コミュニケーション
(マイクと送信機)
PCテイクの様子



コミュニケーション
(スピーカー)

支援機器の効果的な使用方法とは...

<p>PC テイク</p> <ul style="list-style-type: none"> ●利用学生、支援学生の全員で機器の使用について理解する(相互理解の深める) ●話の内容を正確に理解し要約し伝える ●状況等もそのまま伝える 	<p>コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事前にマイクとスピーカーの適切な距離を教員、利用学生、支援学生で把握する ●実際に利用した学生が、不具合の対処方法をまとめ、全体共有する
<p>UDトーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事前に利用学生、支援学生が専門用語等を登録しておく ●支援学生が、誤変換等の修正ができるようにする(技術の向上) 	<p>映像文字起こし</p> <ul style="list-style-type: none"> ●支援学生が文字起こしをする際に、場面の切り替えりをはっきりさせる ●データ作成とデータの送信方法についてのマニュアルを作成し、周知をする(実践中!!)



コミュニケーション
(受信機と送信機)



PCテイクとUDトーク
(タブレット表示)



あ!

映像文字起こし
(サポートルームにて)



利用学生から見た課題は...

<p>映像文字起こし</p> <ul style="list-style-type: none"> ●映像と文字起こしの両方を見ながら内容を理解する大変である ●文字起こしの送信方法を全員が理解していない 	<p>PC テイク</p> <ul style="list-style-type: none"> ●PCの不具合が多い ●話者の話すスピードによる文字情報の読み取りづらさ ●健聴学生とのタイムラグ(笑うタイミングのズレなど)
<p>UDトーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ●誤変換が多い ●誤認識が多い ●修正がうまくできない 	<p>コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電波や話者との距離による不具合 ●機器の不具合時の対応を把握できていない



ん〜。

聴覚障がい学生の5人に4つの支援方法のよさと課題を聞きました!